



消防だより

有田川町消防本部 ☎5259950
吉備金屋消防署 ☎5259950
清水消防署 ☎251243

今年の出動など(累計)

火災……………5件
救急……………496件
救助……………5件
(平成27年4月30日現在)

平成27年度 危険物安全週間推進標語

「無事故へと気持ち集中はつけよう」

危険物安全週間



皆さまは、「危険物安全週間」をご存じでしょうか？

これから気温が高くなり、危険物の自然発火などによる火災の危険が大きくなる時期を迎えることから、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」として、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立と、住民の皆さまに危険物に対する意識の高揚および啓発を推進することを目的として、国、県、市町村などが一体となって実施するものです。危険物とは、消防法で定められているもので、ガソリンや灯油、油性塗料など身近なところでも使われていますが、発火性または引火性の高い物品であり、取り扱いを誤ると大

惨事へとつながる潜在的な危険性を有しています。また、貯蔵タンクなどからの油などの漏れにも注意が必要です。各消防署は管内の危険物施設への立ち入り検査を予定しております。

家庭内においては、危険物に該当する製品の取り扱い上の注意事項をよく読むなど、身の周りにおける危険物の正しい取り扱いを十分理解して、危険物に関する事故発生を未然に防ぎましょう。

なお、一定量の危険物を貯蔵、または取り扱う場合は、消防法により消防署への届出や許可が必要となり、規制を受けることがあるのでご注意ください。

詳しくは、最寄りの消防署におたずねください。



すぐに病院に行ったほうがいい？ それとも様子を見て大丈夫？



判断に迷ったら…

子ども緊急相談ダイヤル #8000

相談時間／平日 19時～23時

土日祝 9時～23時

携帯電話・プッシュ回線からは

☎#8000

ダイヤル回線・IP電話等からは

☎073・431・8000

このダイヤルは、すぐに病院で受診した方がいいのかどうかを迷う保護者の方に助言を行うものです。診察病院の紹介は行っていません。

病院紹介は「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

☎073・426・1199

(24時間体制)

子どもの発熱 家庭での対処法

子どもの熱が38度台までで、元気がある場合は、解熱剤で無理に熱を下げる必要はありません。解熱剤を使うと

かえって体に負担をかけてしまますから、どうしても熱を下げるたいときは、薄着にして体の熱を発散しやすいようにしてあげてください。

一方、厚着させることや、布団でくるむようにして暖かくすることは逆効果になります。大人の目の届くところに寝ている限り、布団をかけなくても大丈夫です。

子どもが熱を出したときは、いつも以上に汗をかきます。また、胃腸の働きが多少弱るので、いつもと同じ食事では胃腸に負担がかかってしまいます。もつとも大切なことは、多めの水分補給と消化吸収しやすいもので栄養補給をさせることです。

ご厚意の活用

救急業務に活かしていただきました。いと、昨年、町内在住の方(匿名)から金5万円をご寄付いただきましたので、このたび各消防署の高規格救急車に低体温(20度)も測定できる体温計を購入いたしました。

ありがとうございました。

